

金多豆蔵人形一座へペナント贈呈

県褒賞受賞を記念し、町から贈呈

金多豆蔵人形一座が令和3年度の青森県褒賞を受賞し、1月21日(金)に表敬訪問しました。

町からは記念して縦1メートル9センチ、横53センチのペナントが贈られました。

町長は「県褒賞を受賞したことをたくさんの人に知ってほしい。ぜひ公演の際にでも置いていただけたら」と話していました。

金多豆蔵人形一座の木村巖さんは「自分自身の今後の励みになる。いただいた立派なペナントを早くお客さんに見せたい」と喜びの声を上げていました。

また、後継者がいないことを上げ「たくさんの方に支えてもらっている金多豆蔵人形劇を何とかつなげていきたい」と今後を述べていました。



下前漁業協同組合下前婦人部が嬉しい報告

第63回県青少年・女性漁業者交流大会優良賞受賞



下前漁業協同組合下前婦人部が2月21日(月)に町長のもとを訪れ、第63回県青少年・女性漁業者交流大会で優良賞を受賞したことを報告しました。

下前漁業協同組合下前婦人部は、令和元年から現在までの3年間、町の補助金を活用しながら、県指導のもと、コンブ養殖を手掛けてきました。

町長は「ハタキ昆布は東京で開催している東信水産(株)のフェアでも売れている。地元の人により一層頑張ってくださいハタキ昆布が全国のブランド並みに有名になっていければ」と期待の声を上げていました。

下前漁業協同組合下前婦人部部長の長内アツ子さんは「とてもうれしい。下前婦人部の会員数が少なくなっているが、若い人へのバトンをうまくつなげていき、下前の漁業のために頑張っていきたい」と今後の意気込みを述べていました。

今後は、生コンブの販売やハタキ昆布、つくだ煮などに加工し、町内や東信水産(株)で販売する予定です。

